

整備候補地と整備方法
国道6号 牛久沼沿い
 基本構想では、複数の候補地を比較検討しました。
 その後、交通量や特産品などを販売するマーケットとして成り立つか、十分な面積があるかという点から「国道6号牛久沼沿い」を整備候補地に決定しました。東京・茨城間の国道6号では初めてとなる道の駅整備に向けて、今後、河川管理者である茨城県をはじめ、道路管理者である国土交通省と連携して整備を行うべく、協議を進めていきます。



牛久沼を望む安らぎの場

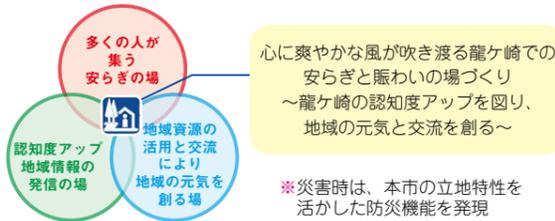
道の駅のコネクト
 道の駅整備にあたり、平成27年度に基本的な考え方を示した「龍ヶ崎市道の駅基本構想」を策定しました。道の駅の基本コンセプトは、整備目的や地域の特性を踏まえて、道路利用者や市民が牛久沼の景観や地域の特産品などさまざまな地域資源に触れ、安らげる場として「心に爽やかな風が吹き渡る龍ヶ崎での安らぎと賑わいの場づくり」としました。また、国土交通省が定める基本機能を具現化する基本方針も掲げました。



▲整備候補地位置図

整備コンセプト
 心に爽やかな風が吹き渡る龍ヶ崎での安らぎと賑わいの場づくり
 ～龍ヶ崎の認知度アップを図り、地域の元気を創る～

基本方針
 基本方針1 多くの人が集う安らぎの場
 基本方針2 認知度アップ・地域情報の発信の場
 基本方針3 地域資源の活用と交流により地域の元気を創る場

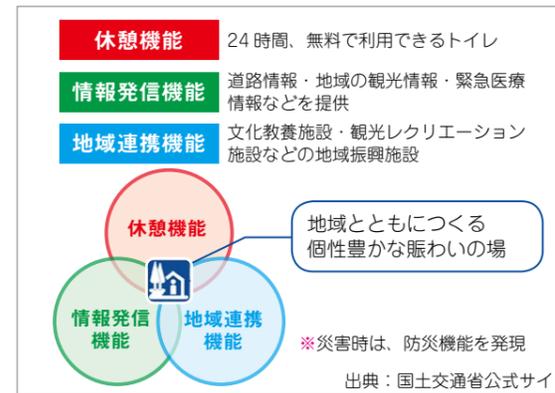


▲整備候補地の現在の状況

道の駅整備に向けた取り組み

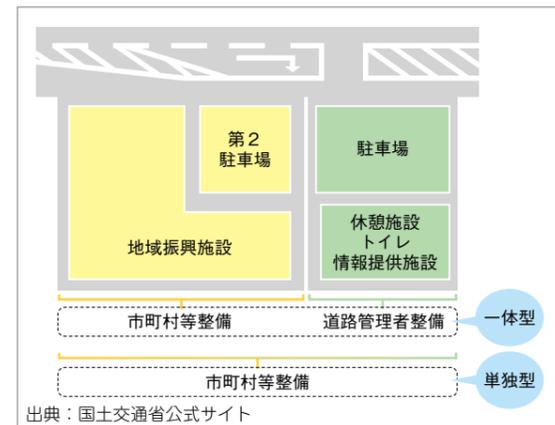
牛久沼の景観を有効活用し
 平成31年茨城国体前の開業を目指します！
 ～心に爽やかな風が吹き渡る龍ヶ崎での安らぎと賑わいの場づくり～

■問い合わせ：道の駅プロジェクト課 内線136

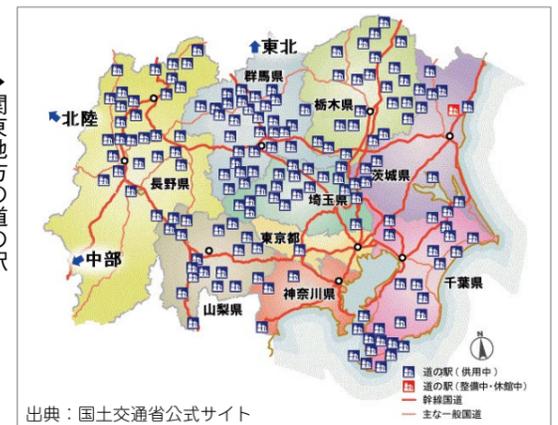


▲道の駅の必要な機能

道の駅とは
 「道の駅」とは、地域の創意工夫により道路利用者に快適な休憩と多様な質の高いサービスを提供する施設です。また、地域振興施設としても注目を集めています。そのため、道の駅を所管する国土交通省では、道の駅に必要な3つの機能を整備することを掲げています。
 整備方法は、道路管理者と市町村などで整備する「一体型」と市町村などで全て整備を行う「単独型」の2種類があります。平成27年11月現在で全国1079カ所ある道の駅のうち、約半数の606の道の駅が一体型で整備されています。

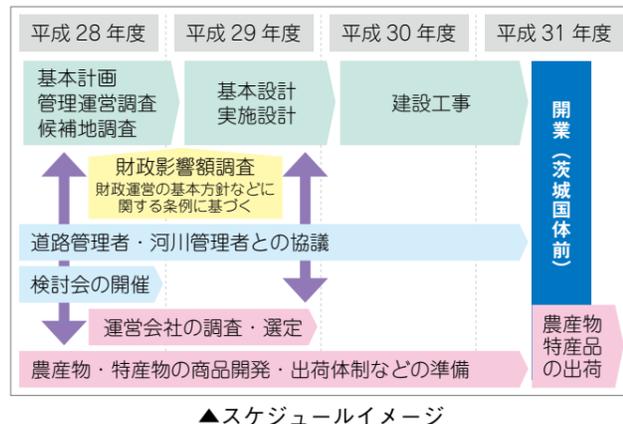


出典：国土交通省公式サイト



出典：国土交通省公式サイト

道の駅基本計画策定に係る意見募集
 任意の様式に意見・提案の他、氏名・住所・年齢・電話番号を明記し、6月30日(木)までに道の駅プロジェクト課へお寄せください。Eメール可。



▲スケジュールイメージ

今後のスケジュール
平成31年茨城国体前開業
 道の駅の開業目標時期は、本県に多くの来訪者が見込まれる平成31年茨城国体前とし、現在作業を進めています。平成28年度は基本計画の策定、候補地の地質調査、管理運営に関する調査などを予定しています。

道の駅整備の目的
 当市には、豊かな自然や国選択・県指定無形民俗文化財「撞舞(つくだま)」をはじめとし、龍ヶ崎コロッセ、龍ヶ崎トマト、牛久沼といった数多くの地域資源が存在します。しかしながら、情報発信や地域資源の活用が十分にできていないため、認知度が低い状況にあります。それらの地域資源を活用した認知度の向上・交流人口の増加が課題であり、地域資源を十分に活用した賑わいの場の創出が必要です。
 そこで、茨城県南部に位置する当市の立地を活かし、東京方面から最初の・東京方面への最後の休憩ポイントとして安らぎの場を創設すること、さらには地域の人々に当市の魅力を発見してもらう場として、道の駅を整備したいと考えています。
 多くの地域資源を複合的に有効活用し、「まちの活性化と知名度アップ」を実現することを目的に、多くの市民の皆さんに喜んでいただける施設にしていきたいと考えています。



地域資源を活かした賑わいの場